

太宰府の文化財

440

ホンゲンギョウ ～市内各地～

ホンゲンギョウと呼ばれる正月の火焚き行事が今も市域の各所で行われています。

現在は自治会や子ども会などの地域の団体が年末から竹や藁などを集めて、1月6日までに広場や田圃に櫓を組みます。櫓の高さは3～5mくらいで、地域によって大小あります。中央に先端に枝葉を残した竹を立て、その周りを囲むように組んだり、直径2～3mほどの円筒状や円錐状に立てたりしています。さらに注連縄や松飾りなどの正月のお飾りを一緒に入れるところもあり地域によりその形は変化に富んでいます。そして1月7日早朝に火を付けみんなで炎が上がるのを見守ります。書初めした紙を投げ入れて焼いたり、正月のお飾りを投げ入れたりと燃やします。その後、櫓に近づける程度に燃やしたところで、持参した餅を焼いて食べたりもします。ところによっては、ぜんざいなどを準備してふるまうと

ころもあるようです。

かつてはムラのクミなど毎に、河原や広場などの開けた場所に竹で骨組みをし、藁や萱などよく燃えるもので櫓を立て燃やし悪疫退散、無病息災などを願う火焚きの行事で子ども組や青年が行っていました。現在と同様、正月飾りや書初めなどを一緒に焼き、餅を焼いて食べ、あるいは持ち帰って七草汁に入れていました。地域によってはイエ毎に小さな火焚きをすることもありました。

ホンゲンギョウに似た行事は全国で行われており、「さぎつちよ(左義長)」や「どんと焼き」などと呼ばれています。多くが1月15日の小正月に行われています。太宰府のように1月7日に行うのは九州地方に多いようです。いずれにしても、宮中での正月の行事が始まりと伝えられますが、厄払いの行事と考えられます。

近年は野焼きなど外で火を焚くこともなくなりました。今となっては、

ホンゲンギョウは特に子どもにとって大きな裸火と接する貴重な機会にもなっていると思われれます。

文化財課 城戸 康利



北谷



観世音寺



国分



三条



坂本

編集／太宰府市総務部経営企画課：〒818-0198
☎092(921)2121 FAX(921)1601

太宰府市観世音寺一丁目1番1号
✉ keiei-kikaku@city.dazaifu.lg.jp

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

太宰府市公式SNSの
フォローをお願いします！

